

玉置 都華

略歴

2016年
北海道大学 農学部 卒業

2016年9月~
Wageningen University
International land and water management
修士課程在籍

みなさんはじめまして！2016年3月に農学部生物環境工学科を卒業しました玉置都華（たまきさとか）です。オランダにある Wageningen University の International land and water management 修士課程で現在奮闘中です。海外大学院留学を考えたきっかけは、「留学したい！」という単純な憧れからです（憧れは大切な感情です笑）。ただ、英語を学びに行くのではなく、専門性を高める留学をしたいという気持ちから、紆余曲折しながらも大学院留学にチャレンジしました。

Wageningen University を知ったきっかけは、卒論のテーマ（暗渠排水）に関係する英語論文を探していた時でした。そこから現在学んでいるプログラムを見つけ、カリキュラムと大学の学習環境に魅了され、オランダの風車、チーズ、チューリップ、ミッフィー、美術館という要素も加わり「ここで学びたい！」とビビっときました。これから大学院留学を検討している北大生にどこまで役に立てるかわかりませんが、一例として読んでいただければ幸いです！

出願まで

Wageningen University に在籍している日本人をウェブサイトで見つけたので、メールを出して情報をいただきながら、出願完了までその方にサポートしていただいていたいました。出願条件を確認する中で

生じた疑問点はプログラムの Study Adviser にメールで問い合わせました。偶然にも、北大に Wageningen University の教授がいらっしやっていたので、友人を通して連絡を取り、実際にあってお話しさせていただきました。北大に留学にきていたオランダ人の子とも知り合いお喋りしました。

奨学金

奨学金がないと家計が厳しいので、応募できる奨学金はすべて応募しました。面接まで進んだものもありましたが、私は奨学金を得ることができませんでした。現在のすべての費用は、学生ローンで賄っています。卒業後から返済していきます。奨学金の書類を準備する中で、自分は本当に海外大学院したいという気持ちが確認できたので、結果にかかわらず私はできる限り挑戦してよかったと思っています。奨学金があることでの安心感は絶対大きいと思います。ぜひみなさんには奨学金を獲得できるように頑張ってください！

出願書類

出願には、Motivation letter、CV、成績証明書、卒業証明書、TOEFL-iBT のスコア証明書、パスポートのコピーを準備しました。

Motivation Letter はネイティブを含む三人の方に見ていただきました。CV は大学生活でアピールできるポイントを詰め込みました。成績・卒業証明書は英文ものを農学部教務に発行してもらいました。TOEFL など語学テストは頑張りましょう笑 推薦状は任意提出で、いろいろあったので私は準備しませんでした。2016年1月頭に出願完了し、1月17日に結果がメールで来ました。

Wageningen University

今年の QS 大学ランキングの農学分野で世界1位になった大学なんです！世界100か国以上から学生が学びに来ています。Wageningen という小さな



田舎の町にあり、農家や森がすぐそこにある自然に囲まれた場所です。キャンパスの建物はどれもユニークな名前がついていて (forum, orion, gaia, lumen, axis など) デザインも素敵です。学生の雰囲気はのんびりしつつも、農業食環境問題に関心が高い料理上手な学生が多い印象です。ベジタリアン、ビーガンの学生がたくさんいるので、日々肉を食べてきた自分にたまに罪悪感があります。先生方もスーツを着ている人はあまり少なく、友達のような距離感で気軽にお話できる存在で新鮮です。オランダの大学ですが、修士課程はすべて英語で展開されています。オランダ人の英語は聞き取りやすいです！

授業

Wageningen University の修士課程は 2 年で、1 年目は授業のみ、2 年目に修論の執筆とインターンシップというカリキュラムになっています。1 年間は 6 学期に分かれていて (1 学期：9, 10 月、2 学期：11, 12 月、3 学期 1 月～2 月上旬、4 学期：2 月下旬～3 月、5 学期：3 月下旬～5 月上旬、6 学期：5 月中旬～7 月上旬です)。私の所属する MSc International land and water management はその名の通り、土地と水の管理に関する授業が主で、全体 60 人程の中で日本人は私 1 人だけです。とにかくグループワーク、プレゼンテーション、リーディングが多いです。グループワークはいかにして多様な学生と意見を交換し、意思疎通をするか、雰囲気よく効率的に進めていくことの難しさや大切さを学んでいます。プレゼンテーションでは、人をひきつけ情報を的確に伝えるための手法を、日々他の学生から学んでいます。リーディングは多すぎて泣きそうなこともあります。笑 読めば読むほど力になると感じています。授業の形態には、ベルギーに現地調査へ行く、水管理組織の現状を劇で演じる、グレナダの UNCCD フォーカルポイントと電話する、ディベート大会、短期間で最低 3 つの関係者と連絡を取り課題に盛り込むなど、国境を越えて、経験したことのないことがたくさんあり、とても面白いです。授業中、日本の話が出るとすぐに振られるので

なかなか毎度緊張します (笑) さらには自然科学だけでなく、社会科学、哲学、人類学、歴史学の視点から土地と水、農業にも踏み込む内容があり今まで持ったことのない視野が広がっています。広がりすぎてパニックになります。

研究について

9 月から修論が始まるので、現在プロポーザルの準備をしています。学士論文では、特に北海道の泥炭地において大活躍した暗渠排水の機能評価の研究をしていました。修論でも泥炭地、排水をキーワードに今度は泥炭地保全の視点から研究をしてみたいと考えています。

日常生活

現在は、6 人の学生と同じコリドーに住んでキッチン、トイレ、シャワー、リビングを共有しています。友人はほとんど Wageningen に住んでいるので、一緒に料理をしたり、お酒をのんだりする時間が楽しいです。アジアの食料品を扱うお店も多くあるので、自分で日本食を作り、たまに大都市の日本食レストランで外食して恋しさを紛らわしています。温泉はすごく恋しいです。週末は町の中心のマーケットで買い物をして、掃除をしたり、ピアノを弾いたり、ランニングをしたり、読書をしたり、Youtube を見たり、隣町に買い物へ行ったり、なにもしないなど自由に過ごしています。(勉強もします)

留学をして感じること

毎日のように、Wageningen に来てよかったと感じています。今回が私にとって初めての留学、海外暮らしで、金銭のこともあり、来る前からすべてがとても不安でした。しかし、友達、先生、アドバイザーの心強いサポートがあり、とても楽しく過ごせています。新しい友達から日々、多くの刺激を受けます。例えば、



- なんでも修理できてしまうスペイン人
(そうか、修理しようと思えばできるもんだ、私も頑張ろう)
- 日本料理が得意な台湾人
(日本人より日本人らしい、私ももっと日本を知ろう)
- 自転車愛なオランダ人
(なにか趣味に没頭するっていいな、私も趣味作ろう)
- 気候変動問題解決に積極的なオランダと中国のハーフ
(現状の問題解決に全力で取り組んでいる、私ももっと関心を持とう)
- 子供が三人いるインドネシア人パパ
(何歳になっても学ぶ気持ちを大事にしたい)
- 三カ国語は基本理解できてしまうヨーロッパ人
(語学もっと頑張ろう、日本語を話せることを誇りに思おう)
- ラブラブなカップル達
(素敵な関係に理想は高まるばかり笑)
- Ph.D.を目指すアジア人
(やりたい研究内容が決まっていって一直線に頑張っている、私も頑張ろう)
といった感じです。個人的ですいません。

進路について

正直全くわかりません。土地と水、農業に関わるなにかをしたいのですが、まだはっきりとした進路は決められないです。これからの授業、修論、インターンシップを経験する中で、じっくりと決めていけたらなというのが素直な心境です。

アドバイス

これから大学院留学を目指す北大生のみなさんへ徒然と書いてきましたが、いかがだったでしょうか？笑 大学院留学はまだまだ、チャレンジする学生が少ないと思います、なので余計準備の間は、進路の決まった友人を隣に自分はこれでいいのだろうかと悩む場面が何度もありました。奨学金にことごとく落ち、自分の無力さに一度はあきらめました(2016年9月)。でも、やっぱり留学って留学したい人には魅力的なんですよ。今は、あの時期を乗り越えてここに来てよかった！と感動する日々です。

いろんな方がブログや Youtube などで情報を発信していますし、毎年夏に開催される海外大学院留学説明会は、実際にすでに留学をしている先輩、これから留学を控えている先輩と知り合うとてもいいきっかけになるのでモチベーションの向上になると思います！がむしゃらに頑張る時間は、苦しいですが過程で得られるものがたくさんありました。絶対自分の強みになります。支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに！

最後になりますが、2015年の海外留学説明会@北大で、私は大学院留学にチャレンジしたいと強く決意できました。当時登壇者だった、種田さん、麩沢さん、成影さん、阿部さんには私の出願準備の間、何度も助けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。また、2016年の説明会で一緒に登壇させていただいた、宮武さん、村瀬さん、梶原さん、永嶋さんにもたくさんの激励をいただき元気をもらいました。本当にありがとうございました。

あっという間に留学が開始してから9か月が経過しようとしています。5月16日から最終学期の6学期が始まりました。まだ15か月残っていますが、周りの刺激に飲まれすぎないように、Wageningenでの日々を過ごしていきたいと思っています。

質問などあれば気軽に satoka.tamaki@gmail.com に連絡してください。

